

Tama City outdoor sports facility plan

多摩市屋外スポーツ施設 管理更新計画 概要版



Tama City Outdoor Sports Facility Plan

令和3(2021)年12月

 多摩市

多摩市 屋外スポーツ施設マップ

①一ノ宮公園庭球場



クレーコート 2面
公園駐車場台数: 0

②一ノ宮公園球技場



グラウンド 50m×110m
公園駐車場台数: 0

⑳和田公園球技場



グラウンド 55m×78m
(土壌改良火山灰使用)
公園駐車場台数: 15

⑲愛宕東公園庭球場



砂入り人工芝 3面
公園駐車場台数: 6

⑱宝野公園球技場



グラウンド 65m×110m
(土壌改良火山灰使用)
公園駐車場台数: 8

⑰奈良原公園庭球場



砂入り人工芝 4面
公園駐車場台数: 9

⑯一本杉公園庭球場



砂入り人工芝 4面
夜間照明完備・更衣室
公園駐車場台数: 100

⑮一本杉公園野球場



グラウンド 両翼91m・中堅間120m
会議室・選手更衣室・管理棟・夜間照明完備
公園駐車場台数: 100

⑭貝取南公園球技場



グラウンド 55m×85m
公園駐車場台数: 6

【利用可能種目】

庭球場: 軟式テニス、硬式テニス

野球場: 硬式野球(一本杉公園野球場のみ)、軟式野球、ソフトボール

球技場: サッカー、ターゲットゴルフ、グラウンドゴルフ、ラグビー、ラクロス、アメリカンフットボール

多摩市立陸上競技場: サッカー、ラグビー、トラック競技(障害物競走は除く)、走り幅跳び、走り高跳び、棒高跳び、三段跳び、砲丸投げ

※関戸公園野球場は少年野球のみ硬式可

※一本杉公園野球場はソフトボール不可

※宝野公園球技場はサッカー以外原則不可



③関戸公園野球場



グラウンド 両翼90m・
中堅間109m
公園駐車場台数: 22

④大谷戸公園キャンプ練習場



定員 120名・かまど 12基
公園駐車場台数: 17

⑤連光寺公園庭球場

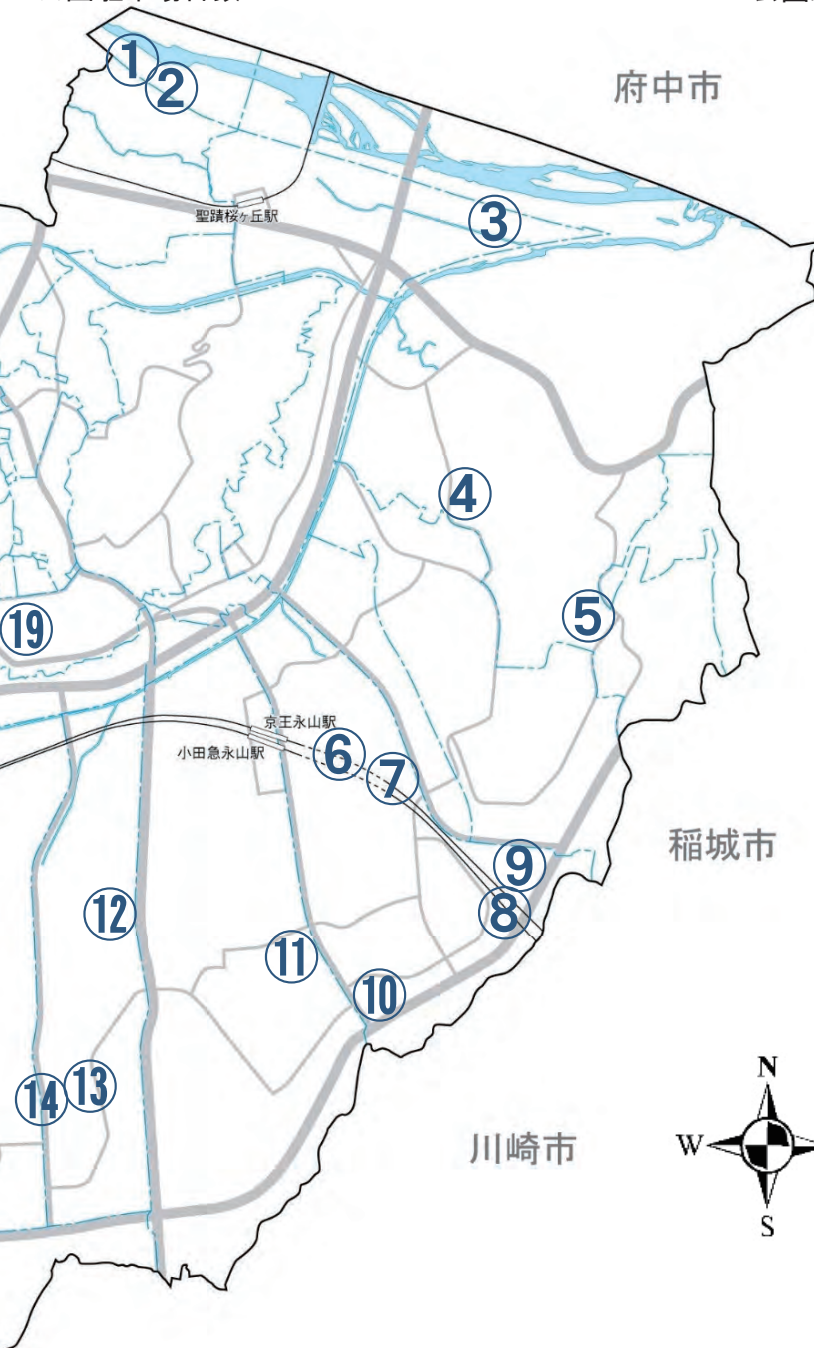


砂入り人工芝 2面
夜間照明完備
公園駐車場台数: 21

⑥諏訪北公園庭球場



砂入り人工芝 2面・壁打 1ヶ所
公園駐車場台数: 6



⑦諏訪北公園野球場



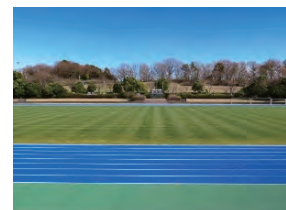
グラウンド 両翼75m・中堅間84m
公園駐車場台数: 6

⑧多摩東公園庭球場



砂入り人工芝6面・クレーコート1面
壁打ハードコート1ヶ所
壁打クレーコート1ヶ所
管理棟(受付・更衣室・トイレ)
公園駐車場台数: 173

⑨多摩市立陸上競技場



天然芝インフィールド面積: 7140m²
レーン数: 8
公園駐車場台数: 173

⑩諏訪南公園野球場兼球技場



グラウンド 50m×90m
公園駐車場台数: 5

⑪貝取南公園野球場



グラウンド 両翼75m・中堅間84m
公園駐車場台数: 6

⑫貝取北公園庭球場



砂入り人工芝 2面
公園駐車場台数: 10

⑬永山南公園庭球場



砂入り人工芝 2面
公園駐車場台数: 10



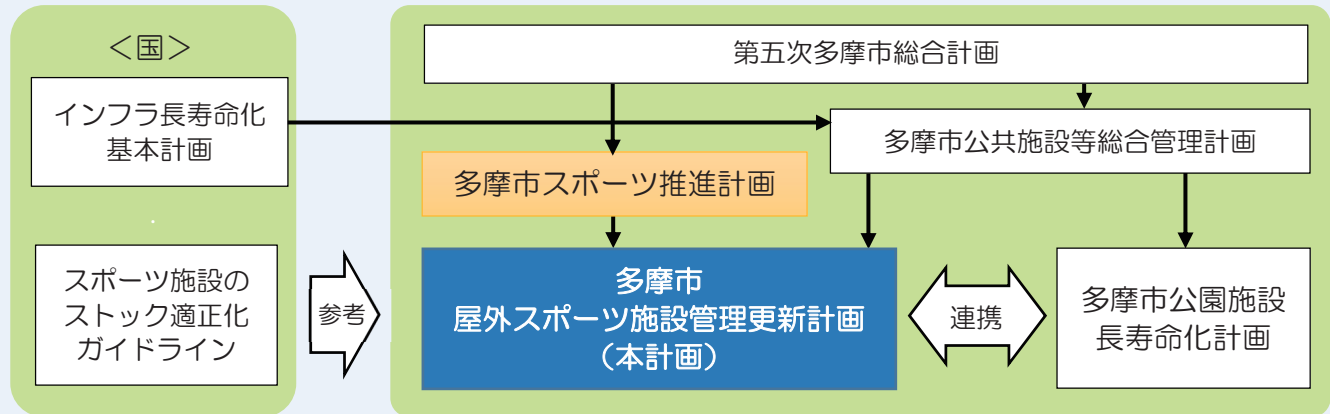
1. 計画の概要

(1) 計画策定の背景と目的

平成 23 年 8 月に「スポーツ基本法」が施行され、スポーツ施設の整備について、利用の実態等に応じた安全の確保、障がい者等の利便性の向上、身近にスポーツを親しむことができる施設や設備の整備、利用者の需要に応じた運用の改善などを定めています。

本市では、第五次多摩市総合計画第 3 期基本計画において「健幸まちづくりのさらなる推進」を計画全体の基本的な考え方として掲げ、令和 2 年に多摩市スポーツ推進計画を策定しました。「多摩市屋外スポーツ施設管理更新計画（以下「本計画」という。）」は、屋外スポーツ施設の計画的な更新について定めることにより、施設利用者の安全を確保するとともに、より多くの市民がスポーツに参画する機会を確保するための適正な管理運営を行っていくことを目的としています。

(2) 計画の位置づけ



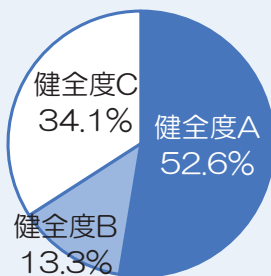
(3) 計画期間

10 年間 令和 4（2022）年度～令和 13（2031）年度

2. 屋外スポーツ施設の課題整理

施設の老朽化

- 全体的に劣化が進行



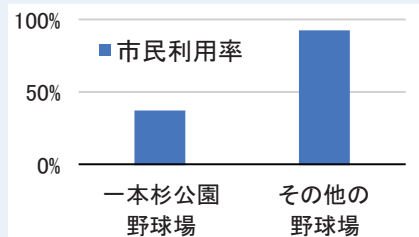
気候変動

- 河川敷の浸水被害により多額の復旧費用を要する

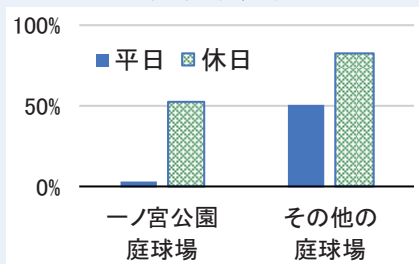


稼働率・収支状況（主なもの）

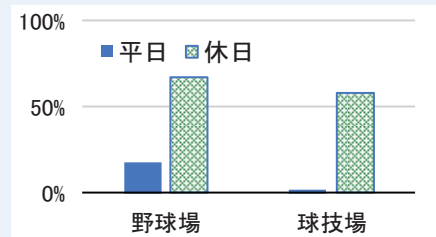
- 一本杉公園野球場は市内団体の利用が少なく、維持管理費が高く収支状況が悪い



- 立地状況などにより一ノ宮公園庭球場、一ノ宮公園球技場の稼働率が低い



- 野球場、球技場の利用者は子どもや現役世代が多く平日の稼働率が低い



- 諏訪南公園野球場兼球技場は稼働率が低く、市内団体の利用が少ない



- 大谷戸公園キャンプ練習場は利便性に課題があり稼働率が低く、収支バランスが悪い

熱中症リスク

競技種類

少人数利用

駐車場台数

- スポーツ活動中を含めた熱中症による被害が多く発生
- スポーツ競技の多様化に対して本市施設の対象競技は限定的
- 少人数でも安心してスポーツができる場が少ない
- 屋外スポーツ施設のある公園駐車場台数が不足しており、枠外駐車や路上駐車などの問題が発生

3. 屋外スポーツ施設を取り巻く環境

(1) スポーツ競技実施状況

- ・スポーツ需要はテニス、キャンプ、サッカーが高く、スポーツ実施率ではサッカーは増加、野球やテニスは減少
- ・スポーツ実施率の全国との比較では野球、サッカーは全国より低く、テニスは高い

(2) 学校開放・学校跡地施設利用状況

- ・学校開放は土日の利用、学校跡地は平日の利用が多く、多くの施設の稼働率は高い

(3) 都内 26 市公共スポーツ施設数比較

- ・他自治体で設置のある多目的運動場は本市にはない
- ・テニスコートの面数は都内 26 市平均よりも多い

(4) 近隣地域における公共・民間スポーツ施設調査

- ・陸上競技場、野球場などの比較的大規模なスポーツ施設は民間では提供されていない
- ・提供しているサービスについて、公共は主に施設の貸し出し、民間はスクールなどの指導を行っている

(5) 民間事業者ヒアリング

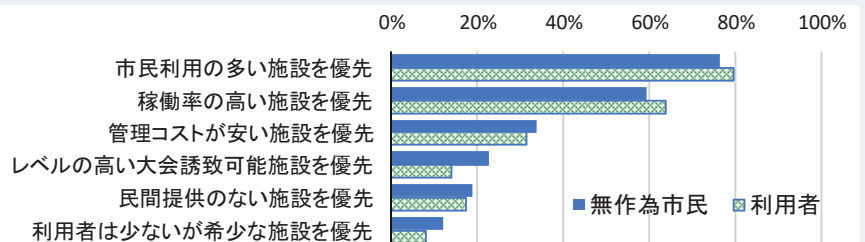
民間事業者ヒアリングでは、施設改修の設計、建設も含めた維持管理・運営について、民間活力導入の課題や実現可能性を探るために実施しました。対象施設は一本杉公園野球場と大谷戸公園キャンプ練習場としました。

- ・一本杉公園野球場は立地条件から集客力に限界があり、民間活力導入による大きな効果は期待できない
- ・大谷戸公園キャンプ練習場は公園全体の改変の必要性、周辺住環境への影響が大きいことから実現可能性が低い

(6) アンケート調査概要

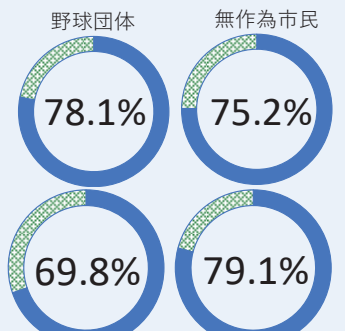
対象となる屋外スポーツ施設の利用者及び球技団体、無作為抽出市民約 2,000 人を対象にアンケート調査を実施しました。

今後の屋外スポーツ施設の整備について
 ・無作為市民、利用者とも「市民利用の多いスポーツ施設を優先して整備する」との意見が最も多い



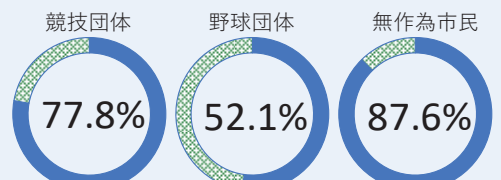
一本杉公園野球場の見直しについて

- ・管理棟やナイター設備の必要性や整備水準を見直し、施設利用料金を引き下げて市民団体が利用しやすい施設を目指すことについて、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合
- ・グラウンド整備回数など維持管理費を見直し、費用効率のよい施設を目指すことについて、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合



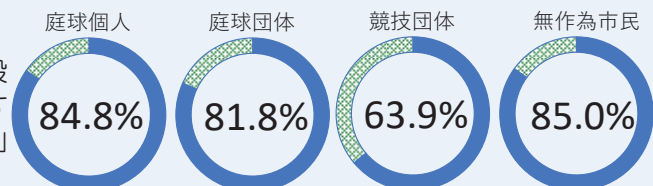
競技場・野球場の多目的利用について

- ・利用可能種目を広げ、多くの人に利用してもらい、有効に活用される施設を目指すことについて、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合



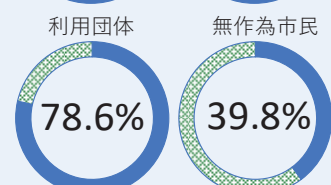
台風等の被害対応について

- ・今後の河川敷のスポーツ施設が浸水被害を受けた場合、施設を撤去し災害に強く多目的に利用できる公園広場に整備することについて、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合



大谷戸公園キャンプ練習場の今後のあり方について

- ・収支状況や集客力が悪いことから施設廃止を含めた検討を行うことについて、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合

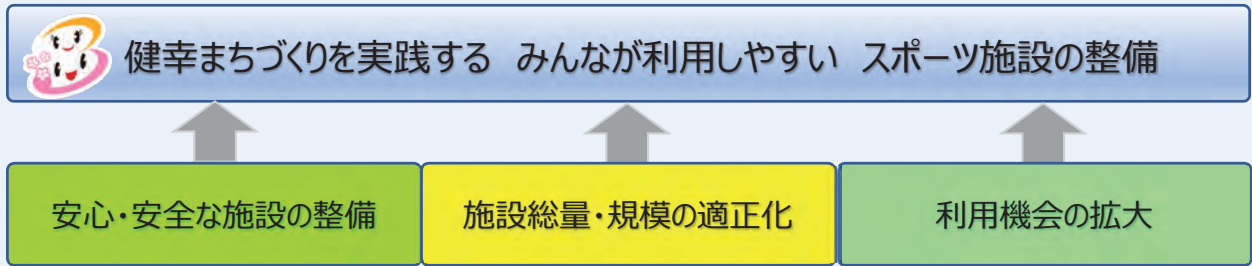


4. 基本方針

(1) 現状に対する認識

- ・多摩ニュータウン整備に伴い、スポーツ活動を通じて新たなコミュニティ形成に取り組んできており、現在も多くの市民がスポーツ施設を活用しています。
- ・スポーツ施設の収支状況は市の方針に近い状況で運営されており、健全な状況です。
- ・一方で施設の老朽化、スポーツ競技の多様化などに対応する必要があります。
- ・以上より、スポーツ環境の向上、財政負担の軽減・平準化を実現するため、課題解決と時代の変化に合わせた各施設の今後の方向性を定め、着実に実現していくこととします。

(2) 基本目標



(3) 今後の方向性

野球場・球技場

【一本杉公園野球場】

- ・更新費、維持管理費の縮小（ナイター照明・大型スコアボードの廃止、管理棟・観客席の縮小等検討）

【一ノ宮公園球技場】

- ・災害の影響を受けにくい、誰もが気軽に運動できる場への転用について検討

【施設全般】

- ・より多くのスポーツ競技ができる場への転換と施設名称の変更
- ・予約のない時間帯に少人数での利用や自由開放などの柔軟な利用ルールの検討
- ・フェンス設置による利用者の安心・安全の確保（特に諏訪南公園野球場兼球技場）

陸上競技場（グラウンド）

- ・現状維持（指定管理者による施設の有効活用、プロスポーツチームとの連携・協働の推進）
- ・多くの市民利用の促進（事業の実施、小中学校の利用）

庭球場

【一ノ宮公園庭球場】

- ・災害の影響を受けにくい、誰もが気軽に運動できる場への転用について検討

【施設全般】

- ・現状施設の維持と長寿命化
- ・人工芝の張替えの間隔は10年を基準

キャンプ練習場

- ・必要な見直しによる施設の維持（道具の持ち込み、火器利用など）
- ・利用料金の上限額の見直し

各施設の共通事項

- ・駐車台数の不足は、拡張を検討するとともに公園利用者も考慮して有料化を検討する
- ・バリアフリー対応では、公園部分も含めた改善を図る

5. 管理更新計画

(1) 年次計画

- 毎年度1～3施設程度のスポーツ施設改修工事を実施します。
- 実施時期は公園改修と合わせることを基本とし、老朽化が進行している施設は優先的に更新します。
- 具体的な実施内容は、施設の劣化状況や利用者意見などから、個別施設毎の更新工事時に検討します。

(2) 予防保全型管理への転換

- 各施設のライフサイクルコストの縮減を図るために、設備の定期点検を実施します。
- 健全度調査を10年ごと、簡易的に健全度を判定する一般点検を健全度調査の5年後に行います。
- 調査結果をもとに、補修が必要な部位の特定や補修方法・更新時期などを検討し、施設の状態に応じて適切な対策を講じます

(3) 本計画による効果

本計画を実施したことにより、今後20年間で6.6億円の削減効果が見込めます。

- 対象施設の設備機能の見直しなど規模適正化による更新費用の縮減
- 施設を適正に維持し長寿命化することで見込めるライフサイクルコストの縮減

表 今後20年間の更新費用と削減効果額

	令和4年度～23年度 更新費総額	削減効果額
平準化前	29.7億円	6.6億円
平準化後	23.1億円	

(4) 財源確保策

施設の整備にあたっては、活用可能な補助金制度などを積極的に活用し、財政負担の軽減を図ります。

また、公園施設長寿命化計画では都市計画事業認可を取得して更新・改修を行うことから、公園と一体となった屋外スポーツ施設の更新を行うことで、都市計画税の活用が見込めます。

活用が見込まれる補助金

- 社会資本整備総合交付金
- スポーツ環境整備費補助金
- スポーツ振興くじ助成金



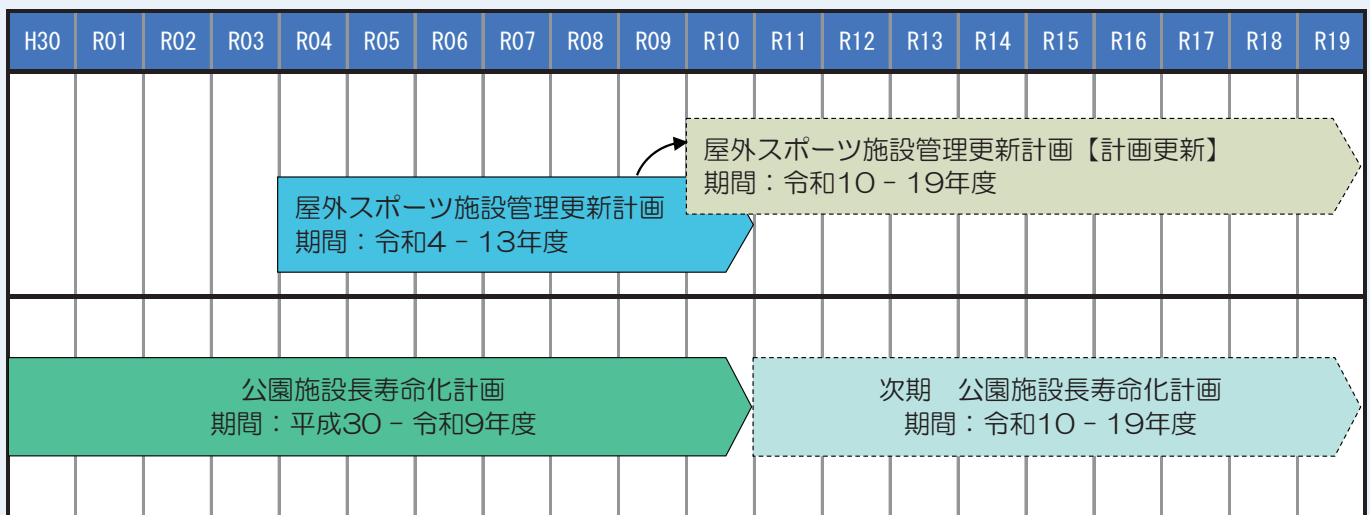
諏訪北公園野球場

(5) 施設運用の見直し

概要	内容
暑熱還付	熱中症予防のためスポーツ実施が困難な酷暑時の利用料金返還
庭球場の早朝枠	夏の熱中症対策として一ノ宮公園庭球場以外の庭球場での早朝枠実施の検討
大谷戸公園キャンプ練習場の利用方法	利便性向上のため利用者が持参する火器利用の検討 利用料金の上限額の見直しを検討
利用者登録方法	団体登録の手続き方法が適正であるか検証し必要に応じた見直し
キャッシュレス決済	スポーツ施設の利用料金支払い方法でのキャッシュレス決済の導入を研究
多種目対応	多種目スポーツ競技への対応を検討
施設名称変更	幅広い種目に対応し、より多くの市民が利用できる施設であることが分かる名称への変更を検討
個人単位の利用	個人単位でも利用可能とする運営方法を検討

(6) 計画の進行管理

本計画は、社会状況などの変化や公園施設長寿命化計画の見直しにあわせて適宜時点修正を行います。



多摩市立陸上競技場



多摩東公園庭球場



多摩市屋外スポーツ施設管理更新計画 概要版

発行 多摩市
〒206-8666
東京都多摩市関戸六丁目12番地1
電話 042-375-8111 (代表)

発行日 令和3(2021)年12月
編集 くらしと文化部スポーツ振興課

印刷物番号

3 - 39